

つくし2組 英語科学習指導案

日 時：平成29年11月1日（水） 第5校時
場 所：多治見市立笠原小学校 つくし2組教室
指導者：HRT 守屋 栄作・坪井 真紀（1組）

1 単元名 『オリジナルフラッグを作ろう』（図画工作科）

2 教材観

(1) 題材について

本単元では、コンテンツとして図画工作科に関する内容を扱う。つくし学級の児童は、普段の遊びや「かがやきタイム」といった帯活動の時間を使って、国旗の名前を言ったり、国旗カードを使った遊びをしたりする活動を通して、国旗を目にする機会がある。そのおかげで、よく見る国旗の国名を覚え始めてきた。本単元では、国名ではなく、国旗に描かれている、色・形に注目し、色の配色や模様・形の位置や大きさ、模様の色によって、国旗がデザインされていることに気付き、似ているデザインがあっても同じ物がないことから、児童一人一人のオリジナルな国旗（フラッグ）をデザインして作っていく単元である。

本単元で扱う国旗は、児童のよく目にする身近な国のものということではなく、その国旗に描かれている、児童がよく知っている形で、色や数が違うものを扱う。そのため、自分が作ったオリジナルフラッグや、見付けてほしいオリジナルフラッグを友だちに見付けてもらうためには、伝わりやすい声の大きさで、数や色・形についての情報を正しく伝えることが大切である。児童が好きなゲーム形式の activity をいくつか取り扱う中で、楽しみながら、数や色・形の情報を正しく話す方法を身に付けていけるようにしていく。その中で、英語では、数や色・形を同時に説明するときには、「数→色→形」の順に説明することに気付かせたい。

(2) 言語材料について

本単元の、中心となる英語表現は以下の通りである。

① 英文

- ・オリジナルフラッグの模様を説明するときに使う表現

《This flag has～.》

- ・模様の方向を示す表現

This way. (ジェスチャーを付けて、縦と横は同じ表現にする)

- ・オリジナルフラッグを作るときに使う表現

What color do you want? — I want (red). What shape do you want? — I want (star).

How many (red stars)? — I want (two red stars).

② 語彙

- ・数詞 one, two, three, four, five, ・色を表す言葉 red, blue, yellow, green, pink, white
- ・形を表す言葉 circle, star, moon, cross

(3) 言語活動と指導意図

本単元では、小学校学習指導要領外国語編（平成29年6月）の「話すこと」の「イ 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。」を中心に指導する。指導目標と評価規準は以下のとおりである。

【指導目標】

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	間違えることを恐れず英語を話す活動に取り組もうとする。	
技能	話題	オリジナルフラッグについて
	内容	オリジナルフラッグに使う形や色、数を
	言語材料	数・色・形を問答する言語材料を用いて
	表現の方法	聞き手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で話しながら
	程度	1～2往復程度の英語で話すことができる。
言語・文化の知識・理解	数・色・形を理解するには、数→色→形の順に表現することを理解している。	

【評価規準】『5 単元指導計画』を参照

これらの目標を具現するために、本単元の終末においては、以下のようなコミュニケーションを図る活動を行う。

全員が作ったオリジナルフラッグから一つを選び、そこに描かれている色の配色や模様・形の模様・数を伝え、友だちに当ててもらう。

3 児童観

<4年女子A>

自分の好きな動物や色、10までの数字を発音することができる。色について発音できるのはred, pink, blueなど3色程度であるが、聞いた英語を元に7色程度から正しい色を選ぶことは可能である。年度当初は相手に伝わるような声量と発音でコミュニケーションする段階には至っていなかったが、少しずつ相手を見て、ゆっくりであるが話すことができるようになってきた。本単元では、表現の能力において、国旗のデザインを伝えるために必要な色と形を正しく覚え、適切な声量で発音できることを目指したい。その際、数・色・形の順に話すことを意識させて活動させたい。

<3年男子B>

英語活動への意欲が高く、身の回りにある基本的な英単語を元気よく発音することができる。数字においては、1～20の数字を聞き取り理解したり、ゆっくり発音したりすることができる。色については、light green, brownなど、やや特殊な色については理解が難しいが、国旗のデザインを表現するための色については概ね発音が可能である。そこで本単元では「聞き手を意識して話す」ことを目標にし、表現の能力においては、大切なところに強勢をおいて、国旗のデザインを分かりやすく伝えることを目指したい。また、相手が理解していないようであれば、ゆっくりと言い直したり、数字・色カードを提示したりするなど、相手を意識して話す姿を目指したい。

<3年男子C>

英語の基本的な表現を覚える力がある。転入した当初は単元の途中から授業に参加したが、1～20までの数を正確に数えたり、相手の欲しいものをたずねたりすることができた。コミュニケーション活動にも意欲的に取り組んでいる。覚えたとおりの表現をそのまま話すことはできるが、聞き手を意識した話し方にはまだ課題が残る。そこで本単元の目標としては、身に付けた英語を聞き手に分かりやすく伝えるにはどうしたらよいか考えて話すことを目指したい。たとえば、大切なところをゆっくり、大きな声で話す、そして数は指でジェスチャーをしたり、色や形はカードを提示して話したりするなど、相手の立場を考えてコミュニケーションをとる姿勢につなげたい。

<2年女子D>

英語の活動においては、自分の好きな色や1～5の数字をゆっくりではあるが発音ができるようになってきた。難しい表現については、教師や友だちの後に復唱をさせて発音している。しかし、発音できる英語は限られているため、自分の言いたいことはカードを選んで指差しながら表現する場面が多い。そこで本単元においては表現の能力においては国旗のデザインの数字・色・形を元気に発音することを目指す。3つの情報を伝えることが困難な場合は数字・色・形カードを並べて選ばせ、教師の後に復唱させるなど、最後までやりきることができるよう支援する。「自分の言った英語で友だちがオリジナルフラッグを当ててくれた。」という達成感を味わわせたい。

4 指導観

(1) コミュニケーションの必然を生む問題解決的な活動について

本単元では、これまでに学習した数・色・形の表現を使って、オリジナルフラッグを作ったり、友だちが作ったオリジナルフラッグを英語で表現して、当ててもらったりするという設定を取り入れた。友だちに当ててもらおうと、ボーナスとしてスペシャルマークを手にすることができる。これにより、児童の中に「オリジナルフラッグのデザインを上手に説明して、それがどれかを友だちに当ててもらいたい。」という気持ちが芽生える。自分が作ったオリジナルフラッグではなく、他の友だちが作ったオリジナルフラッグからも選択させることで、コミュニケーションにも即興性が生まれる。また、自分が言ったことを友だちに当ててもらったことで「伝わった」という達成感にもつながる。最後にスペシャルマークでスペシャルフラッグを作ることで、自分の頑張りを目で見確認することもできる。自分たちが作ったオリジナルフラッグを使ってコミュニケーションさせることで、自分の話した英語が伝わった達成感や、自分が作ったオリジナルフラッグを選んで当ててもらえたという喜びをどの児童にも味わわせたい。

(2) 伝え合う内容について

ウ 他の教科・領域の理解を広めたり深めたりすることのできる情報

本単元では、本物の国旗や自分が作ったオリジナルフラッグについて、数・色・形の3つを英語で表現する。これらの表現を用いることで、今後自分が友だちに説明するときには、名前だけでなく外見の色や形などの特徴を具体的に表現し、相手に理解してもらいやすくなる。また、オリジナルフラッグを作る活動では、自分の好きな色と形を組み合わせ、自分だけの模様を考える。お気に入りの模様を頭の中にイメージし、様々な色と形で組み合わせながら表現することは、図画工作科の観点においても、児童のより豊かな想像力をはぐくむ活動になると考える。

(3) 定着を図るための手立て

毎時間、授業の初めに本単元で取り扱う色と形の歌を歌う。繰り返しジェスチャーを使いながら歌うことで、基本的な色や形の定着につなげる。また、タッチゲームやカルタ、キャップゲームなどを取り入れ、数・色・形をつなげて正しく聞き取ったり、模様を正しく発音したりできるようにつなげる。個々の児童が自分の目指す姿を明確にするため、活動の前に一人一人の目標を確認する。そして活動の合間に中間の高め合いの場を設け、教師から児童に対してできていることと今後の課題を伝える。これにより、児童の目指す姿を明確にさせ、学習内容の定着につなげる。

つくし 10・11月「オリジナルフラッグをつくろう」(図画工作科) 単元指導計画 (全6時間) 多治見市立笠原小学校

<p>過去の指導との関連 【題材について】 前年度つくし9・10月「オリジナルフラッグを作ろう」で国旗を扱う。</p> <p>【言語材料について】 前年度つくし5・6月「いくつかな?」で、数と色とについて扱う。</p> <p>【活動のタイプについて】 つくし7・9月「はたらくひとびと」でDialog形式で活動する。</p>	<p>中心となる指導事項 話すこと [やり取り] イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。</p> <p>題材と伝え合う内容 ・色や形の表現 ・自分が考えた国旗の説明</p>	<p>本単元の指導目標 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 間違うことを恐れず、英語を積極的に話している。</p> <table border="1"> <tr> <td>技能</td> <td>話題</td> <td>オリジナルフラッグについて</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内容</td> <td>オリジナルフラッグに使う形や色、数を</td> </tr> <tr> <td></td> <td>言語材料</td> <td>数・色・形を問答する言語材料を用いて</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表現の方法</td> <td>聞き手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で話しながら</td> </tr> <tr> <td></td> <td>程度</td> <td>1～2往復程度の英語で問答することができる。</td> </tr> </table> <p>言語・文化の知識・理解 数・色・形を理解するには、数→色→形の順に表現することを理解している。</p> <p>終末の活動の工夫 (dialog形式) ・オリジナルフラッグを選び、友だちにデザインを説明して当ててもらおうことでやる気につなげ、活動を活発にする。</p>	技能	話題	オリジナルフラッグについて		内容	オリジナルフラッグに使う形や色、数を		言語材料	数・色・形を問答する言語材料を用いて		表現の方法	聞き手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で話しながら		程度	1～2往復程度の英語で問答することができる。	<p>基本となる言語材料 ・ My flag has ~ ・ this way ・ 色を表す名詞 red, green, blue, yellow, pink, white ・ 形を表す名詞 circle, star, moon, cross ・ 数を表す名詞 one, two, three, four, five</p> <p>言語の使用場面 (ア) 児童の身近な暮らしに関わる場面</p> <p>言語の動き (ウ) 事実・情報伝える ・説明する</p>	<p>今後の指導への発展 【題材について】 次年度つくし9・10月「オリジナルフラッグをつくろう」で国旗を扱う。</p> <p>【言語材料について】 次年度つくし5・6月「いくつかな?」で数と色について指導する。</p> <p>【活動のタイプについて】 つくし11・12月「おいしいスープを作ろう」で、Dialog形式で活動する</p>
技能	話題	オリジナルフラッグについて																	
	内容	オリジナルフラッグに使う形や色、数を																	
	言語材料	数・色・形を問答する言語材料を用いて																	
	表現の方法	聞き手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で話しながら																	
	程度	1～2往復程度の英語で問答することができる。																	

本単元の評価規準			
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】	【外国語表現の能力】	【外国語理解の能力】	【言語や文化に関する知識・理解】
言語活動への取組: 間違うことを恐れず、英語を積極的に話している。	正確さ: 国旗やオリジナルフラッグを構成する数、色、形についての情報を正しく問答することができる。	正確さ:	言語についての知識: 数・色・形を伝えるには、数→色→形の順に表現することを理解している。
コミュニケーションへの継続:	適切さ: 聞き手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で話すことができる。	適切さ:	文化についての理解:

本単元の指導の概要

<p>【導入】</p> <p>第1時 ねらい: 色や形の英語を聞き当てはまる国旗を探すことを通して、国旗を構成する数・色・形についての情報を正しく聞くことができる。</p> <p>課題 どのこっきかな? あててみよう。</p> <p>活動の概要 ・ “color song”を歌う。 ・ 国旗の本をみて、いろいろな形や色があることを知る。 ・ 色探しゲームをする。 ・ 形探しゲームをする。 ・ 色と形からどの国の国旗か、カードゲームを通して当てる。</p> <p>評価規準 ・ 間違うことを恐れず、英語を話す活動に取り組もうとする。(関心・取組)</p>	<p>【中盤】</p> <p>第2時 ねらい: 色・形・しまの方向の表現を聞き、当てはまる国旗を探すことを通して、間違うことを恐れず取り組んだり、聞き取れない時や理解できない時に “One more time, please.” 等で繰り返すを求めたりできる。</p> <p>課題 どのこっきかな? あててみよう。</p> <p>活動の概要 ・ “color song”を歌う。 ・ Small Activity① 色探しゲームをする。 ・ Small Activity② 形探しゲームをする。 ・ 色・形・しまの方向から、どこの国の国旗か、カードゲームを通して当てる。</p> <p>評価規準 ・ 間違うことを恐れず、英語を話す活動に取り組もうとする。(関心・取組)</p>	<p>第3・4時 ねらい: カードゲーム(ばばぬき)を楽しむことを通して、国旗を構成する情報を正しく伝えたり、数・色・形を説明するには数→色→形の順に表現したりすることが分かる。</p> <p>課題 どのこっきかな? ほしいこっきをさがそう。</p> <p>活動の概要 ・ “color song”を歌う。 ・ Small Activity タッチゲームをする。(色、形) ・ 色・形(複数)をいれたカードがどこの国の国旗か、カードゲームを通して当てる。 ・ 3時間目は教師が言っていると。 ・ 4時間目はばばぬきをして、児童がとってほしいカードを言ってもらおう。 ・ 表現の正確さを計るためのチェックタイムを行う。</p> <p>評価規準 ・ 国旗やオリジナルフラッグを構成する数、色、形についての情報を正しく問答することができる。(表現・正確さ) ・ 数・色・形を理解するには、数→色→形の順に表現することが分かる。(言語・知識)</p>	<p>【終末】</p> <p>第5時 ねらい: 自分だけのオリジナルフラッグを作ることを通して、間違うことを恐れず、英語を話したり、聞き手に伝わる明瞭な音声で話したりすることができる。</p> <p>課題 オリジナルフラッグを作ろう</p> <p>活動の概要 ・ “color song”を歌う。 ・ Small Activity タッチゲームをする。(色と形) ・ 決まった形と色を使って、自分だけのオリジナルフラッグを作る。 ・ どの色と形を使っているかを説明する。</p> <p>評価規準 ・ 間違うことを恐れず、英語を話す活動に取り組もうとする。(関心・取組) ・ 聞き手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で話すことができる。(表現・適切さ)</p>	<p>第6時(本時) ねらい: 自分が選んだオリジナルフラッグのデザインを仲間に伝える活動を通して、聞き手に伝わる適切な音量と明瞭な音声でフラッグの数・色・形を話すことができる。</p> <p>課題 なかにまにこっきをあててもらおう</p> <p>活動の概要 ・ “color song”を歌う。 ・ Small Activity タッチゲームをする。(色と形) ・ キャップゲームをして、基本的な数・色・形を発音する。 ・ 自分の選んだオリジナルフラッグのデザインを言って、当ててもらおう。 ・ 言語の知識を計るためのチャレンジクイズを行う。</p> <p>評価規準 ・ 聞き手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で話すことができる。(表現・適切さ) ・ 数・色・形を伝えるには、数→色→形の順に表現することを理解している。(言語・知識)</p>
--	--	--	---	--

6 本時のねらい 自分が選んだオリジナルフラッグのデザインを仲間伝える活動を通して、聞き手に伝わる適切な音量（元気な声）と明瞭な音声（ゆっくり強調）でフラッグの数・色・形を話すことができる。

7 本時の展開（6／6）

時	児童の学習活動	予想される児童の活動 及び ☆教師の指導・援助				評価	補助教材等			
		4年A児	3年B児	3年C児	2年D児					
3	<p>Greeting</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶をして、歌を歌う。 ♪ “color song” “shape song” Let's sing a song. 	<ul style="list-style-type: none"> OK (Hands up.) ☆近くで振付したり歌ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> OK (Hands up.) ☆近くで振付したり歌ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> OK (Hands up.) ☆近くで振付したり歌ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> OK (Hands up.) ☆近くで振付したり歌ったりする。 					
10	<p>Small activities</p> <p>① 国旗カード (A,C) のタッチゲームをし、色・形に慣れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ALT が言う色や形を、国旗カードから探してタッチをする。 <p>HRT: Touch the red. Touch the star. Touch the red star.</p> <ul style="list-style-type: none"> 国旗カードのカルトゲームをする。 <p>② キャップゲームをし、キャップに描かれた色や形の表現に慣れ親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> デザインが描かれたペットボルのキャップを3つずつランダムに選び、並べる。 <p>HRT: Today's lucky cap is yellow star.</p> <p>Do you have yellow star?</p> <p>C : Yes. I have one yellow star.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 聞こえた色や形に注意して国旗カードを選んでタッチする。 ☆正しい国旗カードを選んでいることを褒める。 他の児童とペアになり、いくつかの国旗カードの中から HRT が言う国旗を選んでタッチする。 選んだ3つのキャップに描かれたデザインを英語で言う。 ☆選んだキャップのデザインを数・色・形の順に正しく発音できているかを見届ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞こえた色や形に注意して国旗カードを選んでタッチする。 ☆正しい国旗カードを素早く選んでいることを褒める。 他の児童とペアになり、いくつかの国旗カードの中から HRT が言う国旗を選んでタッチする。 選んだ3つのキャップに描かれたデザインを英語で言う。 ☆I have を用いて選んだキャップのデザインを数・色・形の順に正しく発音できているかを見届ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞こえた色や形に注意して国旗カードを選んでタッチする。 ☆正しい国旗カードを素早く選んでいることを褒める。 教師とペアになり、いくつかの国旗カードの中から HRT が言う国旗を選んでタッチする。 選んだ3つのキャップに描かれたデザインを英語で言う。 ☆I have を用いて選んだキャップのデザインを数・色・形の順に正しく発音できているかを見届ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞こえた色や形に注意して国旗カードを選んでタッチする。 ☆難しいようであれば、教師が3枚程度に選択肢を絞り、色・形カードをヒントとして与えながら選ばせる。 いくつかの国旗カードの中から、HRT が言う国旗を選んでタッチする。 ☆色・形カードを見せながら、正しい国旗を選ぶ手がかりにさせる。 選んだ3つのキャップに描かれたデザインを英語で言う。 ☆難しい色や形は教師の後に復唱させながら、選んだキャップのデザインを発音する。 	<ul style="list-style-type: none"> CD CD デッキ 数字カード 色カード 形カード 国旗カード (A, C) 国旗カルタ キャップゲーム用のペットボトルキャップ 				
27	<p>Activities</p> <p>③ 本時の課題を確認する。</p> <p>④ HRT のデモを見て活動の流れをつかむ。</p> <p>HRT1 : My flag has one red moon and two yellow stars.</p> <p>HRT2 : This one, OK?</p> <p>HRT1 : Yes. That's right!</p> <p>⑤ 交流 I</p> <ul style="list-style-type: none"> あらかじめ作っておいたオリジナルフラッグから1つ選び、数・色・形を友だちに伝える。 自分が選んだオリジナルフラッグを友だちが当てることができたら、教師からスペシャルマークをもらう。 出題する児童を代えながら、友だちが作ったオリジナルフラッグを、数・色・形の言い方に気を付けて当ててもらう。 <p>⑥ 中間の高め合いの場で、目指す姿(*)をもう一度確認する。</p> <p>⑦ 交流 II</p> <ul style="list-style-type: none"> 目指す姿に気を付けて、自分が選んだオリジナルフラッグを友だちに当ててもらう。 <p>⑧ もらったスペシャルマークでスペシャルフラッグを作り、見せ合う。</p>	<p>ともだちにくっきをあててもらおう。</p>				<p>国旗のデザインを数・色・形の順に、聞き手が聞ける元気な声で話そう。</p> <p><出題者側></p> <ul style="list-style-type: none"> 前時に作った全員のオリジナルフラッグの中から1つ選び、デザインを英語で言う。 ☆数・色・形の発音や順番が理解しにくい場合は、教師がヒントとして色・形カードを指差し、それを手がかりに発音させる。 <p><解答者側></p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちの英語を聞きながら、どのオリジナルフラッグのデザインについて説明しているのかを当てる。 ☆黒板に貼ってあるオリジナルフラッグの見た手がかりに、友だちの英語を聞くようアドバイスする。 <p>【中間の高め合いの場】</p> <p>仲間のよさを知り後半の活動に生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> 定着していない英語表現を確認し練習する。 ☆数・色・形の順に注意して言えていることを褒める。 これまでもらったスペシャルマークで、スペシャルフラッグを作り、見せ合う。 	<p>国旗のデザインを数・色・形の順にゆっくり強調して伝えよう。</p> <p><出題者側></p> <ul style="list-style-type: none"> 前時に作った全員のオリジナルフラッグの中から1つ選び、デザインを英語で言う。 ☆数・色・形の部分を指でジェスチャーしたり、色・形カードを使ったりしながらはっきり伝える。 <p><解答者側></p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちの英語を聞きながら、どのオリジナルフラッグのデザインについて説明しているのかを当てる。 ☆黒板に貼ってあるオリジナルフラッグの見た手がかりに、友だちの英語を聞くようアドバイスする。 <p>【中間の高め合いの場】</p> <p>仲間のよさを知り後半の活動に生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> 定着していない英語表現を確認し練習する。 ☆数・色・形の順にゆっくり強調して言えていることを褒める。 これまでもらったスペシャルマークで、スペシャルフラッグを作り、見せ合う。 	<p>ジェスチャーや色・形カードを使い、数・色・形の部分をゆっくり強調して伝えよう。</p> <p><出題者側></p> <ul style="list-style-type: none"> 前時に作った全員のオリジナルフラッグの中から1つ選び、デザインを英語で言う。 ☆数・色・形の部分を指でジェスチャーしたり、色・形カードを使ったりしながらはっきり伝える。 <p><解答者側></p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちの英語を聞きながら、どのオリジナルフラッグのデザインについて説明しているのかを当てる。 ☆黒板に貼ってあるオリジナルフラッグの見た手がかりに、友だちの英語を聞くようアドバイスする。 <p>【中間の高め合いの場】</p> <p>仲間のよさを知り後半の活動に生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> 定着していない英語表現を確認し練習する。 ☆ジェスチャーや色・形カードを提示しながら数・色・形の順に言えていることを褒める。 これまでもらったスペシャルマークで、スペシャルフラッグを作り、見せ合う。 	<p>国旗のデザインの数・色・形を元気な声で言おう。</p> <p><出題者側></p> <ul style="list-style-type: none"> 前時に作った全員のオリジナルフラッグの中から1つ選び、デザインを英語で言う。 ☆数・色・形は必要に応じて数字・色・形カードを用いたり、教師の指さしや発音をヒントにしたりして表現させる。 <p><解答者側></p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちの英語を聞きながら、どのオリジナルフラッグのデザインについて説明しているのかを当てる。 ☆ヒントカードや教師の助言を聞きながら、数・色・形のイメージにつなげる。 <p>【中間の高め合いの場】</p> <p>仲間のよさを知り後半の活動に生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> 定着していない英語表現を確認し練習する。 ☆数・色・形を元気な声で言えていることを褒める。 これまでもらったスペシャルマークで、スペシャルフラッグを作り、見せ合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが作ったオリジナルフラッグ スペシャルマーク
5	<p>Comments</p> <p>⑨ HRT のコメントを聞く。(各クラス)</p> <p>⑩ 今日の活動の感想を言う。</p> <p>⑪ チェックタイムを行う。(全体)</p> <p>HRT: Show me your flag.</p> <p>C : My flag has one red star and one blue star.</p> <p>Greeting</p> <p>HRT : That's all for today.</p> <p>C : Thank you, Moriya sensei.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 数・色・形の順で、みんなに聞こえる元気な声で国旗のデザインを伝えることができました。 ☆大きな声で国旗のデザインを伝えることができたことを褒める。 ☆数・色・形の順で伝えることができたことを褒める。 	<ul style="list-style-type: none"> 数・色・形の部分をゆっくり強調して分かりやすく伝えることができました。 ☆大きな声でゆっくり強調しながら、国旗のデザインを伝えることができたことを褒める。 ☆数・色・形の順で伝えることができたことを褒める。 	<ul style="list-style-type: none"> ジェスチャーや色・形カードを入れながら数・色・形の部分をゆっくり強調して伝えることができました。 ☆大きな声でゆっくり強調しながら、国旗のデザインを伝えることができたことを褒める。 ☆ジェスチャーを取り入れながら話ができることを褒める。 	<ul style="list-style-type: none"> 国旗のデザインの数・色・形を大きな声で言うことができました。 ☆数字・色・形カードを使いながら自分の力で言えたことを褒める。 ☆分からない表現は、教師の後に復唱して言えたことを褒める。 	<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞き手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で話すことができる。(表現・適切さ) (数・色・形の順に聞き手が聞き取れる大きな声で話すことができる。<A児>) (数・色・形の順を意識して、ゆっくり強調して話すことができる。<B児>) (相手に伝わるようにジェスチャーや色・形カードを使いながらゆっくり強調して話すことができる。<C児>) (ヒントカードを手がかりに数・色・形を大きな声で話すことができる。<D児>) (表現・適切さ) 				